

指定管理者に関するモニタリングシート

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 8 年度)

施設の名称	東大阪市立市民ふれあいホール	指定期間	5 年度～ 9 年度
施設所管所属	都市魅力産業スポーツ部 スポーツのまち推進室 市民スポーツ支援課	指定の方法	複数施設を一括指定管理
連絡先	06-4309-3282		
設置目的	市民文化の向上発展を図り、教育文化及びスポーツ活動に供するため。		
施設内容・業務内容等	施設管理、運営業務、空調機精密点検、エレベーター点検、調光設備点検、ピアノ保守点検、植栽業務、清掃業務。 施設利用(スポーツホール、多目的ホール、会議室)及び用具の貸出し等。		
指定管理者	HOSグループ	連絡先	072-982-6563
人員体制	正規職員	1 人	パート・アルバイト 人 5 人 その他 0 人

2 管理運営状況等

年度		実績			今年度(予算)	次年度(見込)
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
管理形態		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数		308	306	307	307	307
指定管理委託料(千円)		14,680	14,570	14,591	15,492	15,492
利用状況	1 年間利用者数(人)	53,324	51,220	54,395	補足説明	
	2 利用登録団体の利用数	1,702	1,657	1,665	補足説明	
	3 スポーツ教室参加者数(人)	1,449	1,395	1,381	補足説明	

3 モニタリングの総括

施設ごとに定める評価事項((i)重視していた事項、(ii)要改善事項、(iii)期待水準・当初提案を大きく上回った取組、(iv)期待水準・当初提案を大きく上回った成果)及びチェックシートの評価から点数を算出し、下記のとおり評価する。

総合点が95点以上をS、80点以上94点以下をA、60点以上79点以下をB、60点未満をCとする。

4(i) 重視していた事項	3 点	/ 10点	総合評価	B
4(ii) 要改善事項	-3 点	/-10点		
4(iii) 期待水準を大きく上回った取組	0 点	/ 5点		
4(iv) 期待水準を大きく上回った成果	0 点	/ 5点		
5 チェックシートの総括	78 点	/ 80点		
上記の合計(総合点)	78 点	/100点		
総評 (全体評価や今後の課題)	市民が安心して施設を利用できるよう日頃の清掃や点検を積極的に行うことができている。 今後は、利用率が低迷している部屋において新規事業の充実を図るとともに、施設のさらなる有効活用に取り組まれたい。また、改善が必要な事項については、市と協議を行いながら施設の活性化につなげることを求める。			

4 施設ごとに定める評価事項

下記(ⅰ)～(ⅳ)の項目は、施設の状況に応じ、所管所属において自由に設定
(所管所属の評価がモニタリングの総括に反映)

(ⅰ) 所管所属が特に重視していた事項

評価対象年度(R7年度)において 特に重視していた事項・取組	施設所管所属コメント	評価点
自主事業やイベントの企画・運営	利用者アンケートや日常的なコミュニケーションを通じて要望を把握し、子供向けのチャダダンスやバレエの実施など、利用者ニーズに応じた事業やイベントの企画・実施につなげていることは評価できる。	3

<評価基準>

5点:大変よくできている
(目標をはるかに上回る達成)
4点:よくできている
(目標を上回る達成)
3点:できている
(おおそ目標どおりの達成)
2点:目標・要求水準には達していない
が、取組は大いに評価できる。
1点:目標・要求水準には達していない
が、取組は少なからず評価できる。
0点:目標・要求水準には達しておらず、
取組も評価できない。

(ⅱ) 要改善事項

主な改善指示事項(過年度からのものを含む)	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
事業報告書等の提出期限の遵守	事業報告書等の提出期限については、前回の改善指示後も遅延が継続しており、改善が十分に図られているとは認められない。指定管理業務の適正なモニタリングに支障をきたすため、組織的な管理体制の見直しを行い、期限内提出を徹底されたい。	-3

<評価基準>

0点:改善し、求めている状況・水準以上になった。
-3点:改善しているものの、求めている
状況・水準には達していない。
-5点:改善していない。

(ⅲ) 期待水準・当初提案を大きく上回った取組

当初提案・期待水準を大きく上回った取組	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
		0

<評価基準>

5点:模範的かつ他施設への展開・波及
効果が期待できる取組である。
3点:大いに評価できる取組である。
1点:評価に値する取組である。

(ⅳ) 期待水準・当初提案を大きく上回った成果(※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの)

当初提案・期待水準を大きく上回った成果 ※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
		0

<評価基準>

該当があれば5点、なければ0点

(配点対象外) その他特筆すべき事項

指定管理者による自主的な取組で評価に値するもの、突発的な事象発生時の迅速な対応など、特筆すべき事項	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)

配点対象外

5 チェックシートの総括

「個別評価」(自動表示):

S=不適当がなく「得点」が95%以上

A=不適当がなく「得点」が80%以上、

B=不適当がなく「得点」が60%以上

C=不適当が1個以上又は「得点」が60%未満

モニタリングの観点		施設所管所属のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項、課題に対する取組など
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S (95 %)	施設の設置目的を十分に理解し、施設運営を行うことができているが、一部書類の報告遅滞や伝達不足があったため注意するよう指導する。また、中長期の展望を明確にし、部屋ごとの利用状況を考慮し新規事業の展開を行うことを求める。 令和7年度の事業収支が赤字であるため、原因を分析し、経費の縮減に努めていただきたい。 日常の安全点検や、災害等発生時の危機管理についても、普段よりガイドライン等を設けて十分な対策を行うことができている。
B 管理・運営	人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S (98 %)	仕様書や協定書、人員管理配置計画に基づき施設の管理運営に必要な人材を適材適所に配置し、運営を行っている。 修繕等に関しても日頃より市への報告・相談が行われている。 市民の声を聴きながら、快適な利用環境を目指して、修繕・清掃・衛生管理・防犯対策に至るまで、きめ細かく対応している。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S (100 %)	窓口や電話対応などの接遇などには細心の注意を払い、感染症対策等により休館する際は、あらかじめウェブサイトや掲示物等による利用者への周知を行っている。また、利用者が安心して継続して施設を利用できるようサービス向上を図ることができている。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A (92 %)	事務所の扉を開放する等気軽に利用者が職員に声をかけることができる空間を作っている。 施設見学、自主事業で行っている教室の体験を随時可能にするなどきめ細かい対応を行っている。また、ご意見箱を設置したり、年に数回利用者に対するアンケートを行ったりと、市民の声が反映されるような仕組みを整えている。アンケートの結果を分析し、施設の活性化に向けて策を講じることを求める。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A (90 %)	令和7年度の事業収支が赤字になっているため、今まで以上にコスト管理意識を持ち、今後の施設運営を行うことを求める。利用者の満足度が高いものは例年の継続事業が多いことから、利用率が低迷している部屋においては新規事業等を行うことで、更なる施設の活用に繋げることを求める。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S (100 %)	職員の条例や規則等の理解・遵守のため、説明や掲示をする等して周知に努めている。